



AKITA

〔1月〕

県内経済

概況

県内経済は、厳しい状況が続いているが、緩やかに持ち直している

機械金属の生産は前年を下回ったものの、電子部品は前年を上回ったほか、木材にも持ち直しの動きがみられる。建設は、住宅着工で弱い動きが続いているが、公共工事は前年を上回った。個人消費は持ち直しの動きとなっている。雇用情勢は改善の動きが弱まっている。

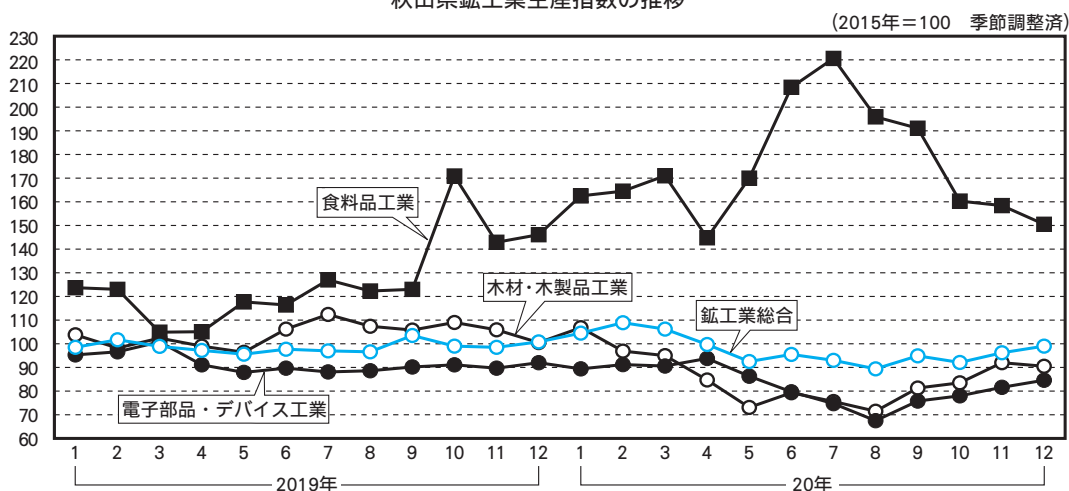
産業別の動向では、電子部品の生産額は、次世代通信規格5G関連製品の需要が堅調であるほか、車載向けも好調を維持し、3か月連続で前年を上回った。機械金属の生産額は、輸送機械が半導体不足から減産となり、前年を下回った。木材の生産量は、製材品が低迷しているものの、普通合板(12月)は前年比マイナス幅が縮小しており、持ち直しの動きがみられる。公共工事請負額は、3か月連続で前年を上回り、年度累計でも前年を上回って推移している。地元大手(12社)の建設受注額は、官公庁工事は前年を上回ったものの、民間工事が振る

わず、2か月ぶりに前年を下回った。住宅着工は、弱い動きが続いている。個人消費は、小売店販売額(12月)が3か月連続で前年を上回ったほか、新車乗用車販売台数も4か月連続で前年を上回るなど、全体として持ち直しの動きとなっている。

有効求人倍率は前月比0.08ポイント上昇の1.31倍となった。新規求人数は前年比6.1%減となり、21か月連続で減少した。事業主都合離職者数は前年比12.2%増となり、10か月連続で前年を上回った。

企業倒産件数は0件であった。件数0件は2020年5月以来、集計史上3度目。

秋田県鉱工業生産指数の推移



資料：秋田県企画振興部調査統計課「秋田県鉱工業生産指数月報」

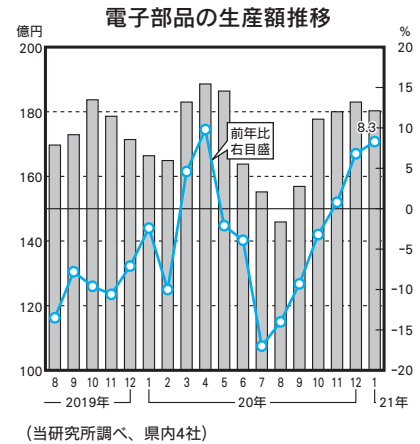
## 電子部品

生産額、3か月連続で前年比増加

1月の生産額は前年比8.3%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

スマートフォンや基地局向け、タブレット端末やゲーム機など5G関連の製品が増勢を強めている。車載向けも、自動車販売台数の回復などにより世界的な半導体不足となっており、需要が高まっている。

その他品目別では、主力のセラミック・コンデンサやコイルは堅調に推移しているものの、持ち直し感のあった半導体素子は減少幅が拡大しており、産業向け液晶パネルも大幅減が続いている。



## 機械金属

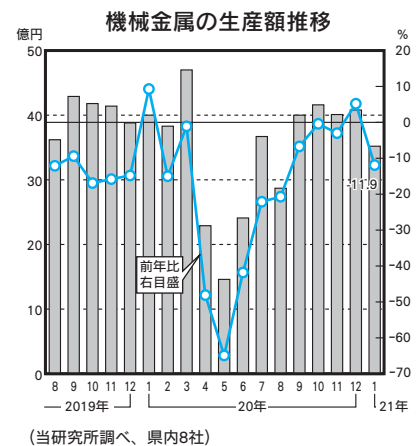
生産額、前年比減少に転ずる

1月の生産額は前年比11.9%減となり、11か月ぶりに前年比増加となった前月から1か月で前年比減少に転じた。

ウエイトの高い輸送機械はこれまで好調だったものの、半導体不足のため、一部で生産ラインを止めるなど減産しているメーカーがあることから減少傾向にある。

その他民需関連では、建機部品は底を打った感があるものの、製鋼品は減少に歯止めがかかっていない。金型は一進一退の動きが続いている。

公共工事関連では、水道部品は堅調に推移しているものの、橋梁・鉄骨は大幅減が続いている。



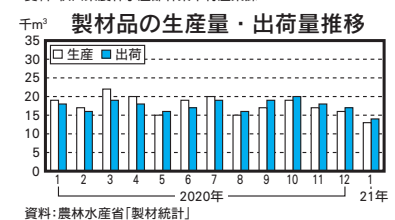
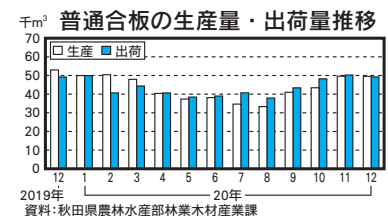
## 木材業

普通合板の出荷量が15か月ぶりに前年比増加

全国的には、新設住宅着工戸数の減少と新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、不需要期に入り、普通合板、製材品いずれの生産、出荷とも依然前年割れの推移が続いているが、県内では、普通合板に弱いながらも持ち直しの動きが窺える。

12月の普通合板は、生産量が前年比6.5%減と10か月連続で減少したものの、マイナス幅は前月より縮小し、出荷量は同0.1%増とわずかながら15か月ぶりに前年を上回った。

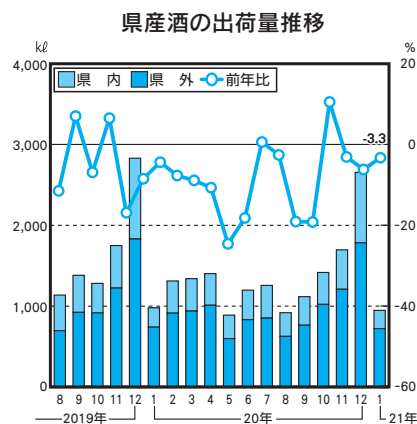
1月の製材品は、生産量が前年比31.6%減と10か月連続で前年を下回り、出荷量も同22.2%減と12か月連続で減少するなど、生産、出荷とも二桁の減少率が続いている。



## 酒造業

### 出荷量、3か月連続で前年比減少

1月の清酒出荷量は、前年比3.3%減と3か月連続で前年を下回った。首都圏などを対象とする二度目の緊急事態宣言発令を受け業務用市場が落ち込んだものの、前年が全国的な暖冬の影響から需要が縮小し低水準であったため、前年比減少幅は前月に比べ縮小した。出荷先別では、県内向けは同5.9%減、県外向けも同2.5%減となった。県外の主な出荷先別では、東北5県は同4.5%増となったが、東京が同5.8%減となり、北海道は同16.1%減と二桁の減少率となった。種類別では、普通酒が同4.5%増と増加した一方で、特定名称酒は純米酒と本醸造酒が振るわず同10.0%減と減少した。



資料: 秋田県酒造組合

## 建設業

### 公共工事 県と市町村が増加し、3か月連続で前年比増加

1月の公共工事請負金額は、国等が減少したものの、県と市町村が増加し、前年比329.1%増と3か月連続で前年を上回った。年度累計実績も前年同期比9.2%増と伸びた。

一方、当研究所調査による地元大手12社の1月の新規受注額は、前年比13.9%減の532百万円と2か月ぶりに前年を下回った。官公庁工事は、前年同月が土木、建築とも低水準であったことから同418.8%増と伸びたものの、民間工事は、小口受注のみで土木、建築とも振るわず、同68.3%減と前年実績を下回った。なお、年度累計の受注実績では、前年同期比31.2%減と依然前年を下回っている。

#### 公共工事前払金保証実績

(単位: 件、百万円、%)

区分	1月	前年比	2020年4~21/1月	前年同期比
件数	22	△46.3	2,349	△2.0
請負金額	4,433	329.1	156,762	9.2

資料: 東日本建設業保証㈱秋田支店

#### 地元大手企業12社受注額

(単位: 百万円、%)

区分	1月	前年比	2020年4~21/1月	前年同期比
官公庁	358	418.8	13,559	△22.2
民間	174	△68.3	4,364	△49.4
合計	532	△13.9	17,923	△31.2

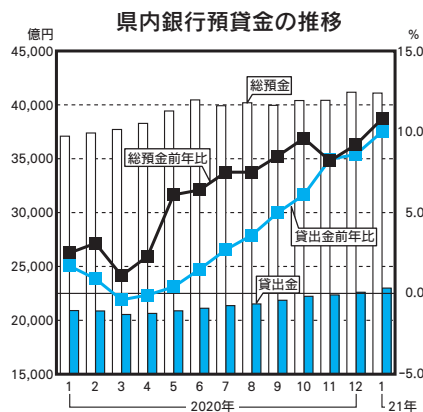
(当研究所調べ、県内12社)

## 金融

### 預金、貸出金とも前年比二桁の伸び率

1月末の県内銀行の預金は、前月末比77億円減少したものの、前年比では10.8%の増加となった。貸出金は、前月末比387億円増加し、前年比でも10.0%の増加となった。資金需要が高まっているほか、一部企業で手元資金を厚くする動きがみられ、預金、貸出金とも前年比二桁の増加率となった。

1月の倒産件数(負債総額1千万円以上)は0件(前年比9件減)、負債総額は0円(同100.0%減)となり、1971年に集計を開始して以来、2018年10月、2020年5月に次いで3度目の倒産発生ゼロとなった。



資料: 秋田県銀行協会

## 住宅着工

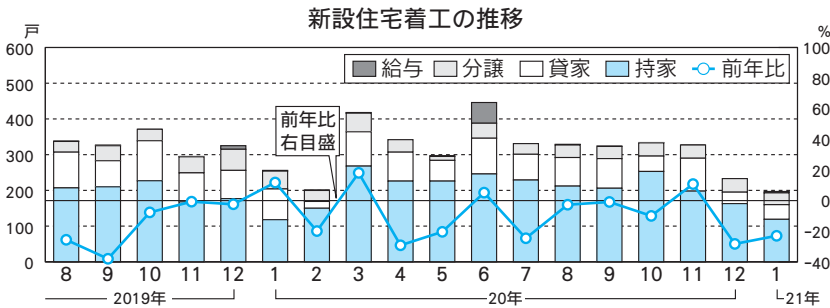
### 着工戸数、2か月連続で前年比減少

1月の県内新設住宅着工戸数は、197戸（前年比59戸減、23.0%減）であった。主力である持家と、給与住宅は増加したものの、貸家が大減となったほか、分譲住宅も減少し、2か月連続で前年を下回った。

利用関係別では、持家が119戸（前年比1戸増）、貸家が41戸（同45戸減）、分譲住宅33戸（同17戸減）、給与住宅4戸（同2戸増）となった。

持家は、2か月ぶりに前年を上回った。貸家は、秋田市、横手市、北秋田地域などで民間の賃貸住宅が減少し、2か月連続で前年を下回った。分譲住宅も、3か月連続で前年を下回った。

地域別では、県北・県央・県南の全地域で前年を下回った。全地域で貸家と分譲住宅の着工が減少したほか、県北は持家の着工も減少した。



資料：秋田県建築住宅課

### 住宅着工動向

(単位：戸、%)

区分	2021年1月	前年比	20年1~12月	前年比
県北	24	△33.3	805	△7.9
県央	122	△26.5	2,113	△4.8
県南	51	△5.6	920	△17.5
合計	197	△23.0	3,838	△8.8

資料：秋田県建築住宅課

## 個人消費

### 全体として持ち直しの動き

12月の小売店（商業動態統計主要6業態）販売額は、前年比3.1%増となり3か月連続で前年を上回った。

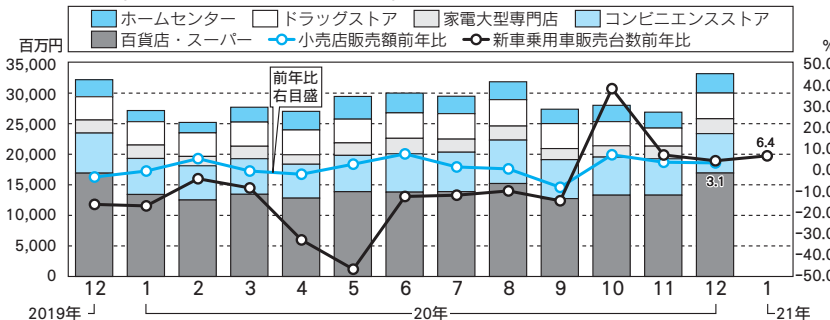
内訳をみると、コンビニエンスストア（同1.7%減）で減少したものの、家電大型専門店（同14.0%増）、ホームセンター（同13.8%増）、ドラッグストア（同10.4%増）、百貨店・スーパー（同0.1%増）でいずれ

も増加した。

1月の新車乗用車販売台数は、前年比6.4%増となり、4か月連続で前年を上回った。

内訳をみると、登録車は、同0.6%増と2か月ぶりに前年を上回ったほか、軽乗用車も同13.1%増と4か月連続で前年を上回った。

### 小売店（商業動態統計主要6業態）販売額・新車乗用車販売台数の推移



資料：経済産業省、秋田県自動車販売店協会

### 1月の新車乗用車販売台数 (単位：台、%)

区分	販売台数	前年比
新車乗用車総販売台数	2,386	6.4
登録車	1,209	0.6
普通車	568	17.4
小型車	594	△9.9
輸入車	47	△20.3
軽乗用車	1,177	13.1

資料：秋田県自動車販売店協会

### 県内個人消費関連指標(前年比) (単位：%)

区分	10月	11月	12月
①消費者物価指数	△0.9	△1.7	△1.6
②勤労者名目賃金	1.0	6.0	△1.8

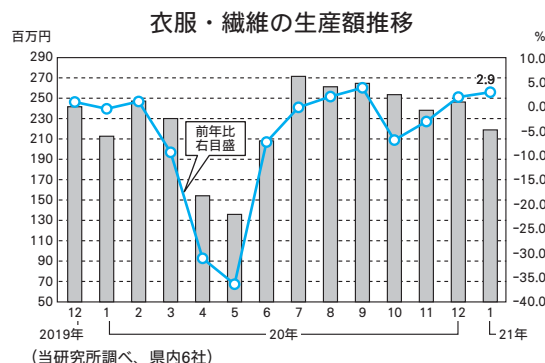
資料：①秋田県（総合指数、秋田市）  
②秋田県（事業所規模5人以上）

## 衣服・繊維

### 生産額、2か月連続で前年比増加

1月の生産額は、前年比2.9%増となった。新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響を受け、紳士服など一般衣料は減少が続いているものの、医療用ガウンが下支えし、2か月連続で前年を上回った。

受注は、1月から医療用ガウンの受注が増加し、7か月ぶりに前年を上回った。



## 雇用

### 有効求人倍率、前月比0.08ポイント上昇の1.31倍

1月の有効求人倍率は、前月比0.08ポイント上昇の1.31倍となった。常用の内訳では、一般は前月比0.01ポイント低下の1.29倍、パートは同0.05ポイント上昇の1.26倍となった。求人が求職を上回って推移しているが、新型コロナウイルス感染症の影響から改善の動きが弱まっている。

新規求人数は前年比6.1%減となり、21か月連続で前年を下回った。産業別にみると、製造業は同7.6%増となった。「木材・木製品」、「電子部品・デバイス・電子回路」で減少したものの、「情報通信機械」、「電気機械器具」で大幅に増加した。非製造業は

同7.2%減となった。「サービス」、「建設」、「医療、福祉」で増加したものの、「情報通信」、「生活関連サービス、娯楽」などで減少した。

新規求職者数は前年比18.2%減と、16か月連続で前年を下回った。

事業主都合離職者数は前年比12.2%増と、10か月連続で前年を上回った。

地域別雇用状況（パートを含む常用）をみると、新規求人数は県北、県央、県南でともに減少した。有効求人倍率は県北が最も高く1.47倍、県央が1.28倍、県南が1.13倍となった。

#### 業種別・新規求人内訳および新規求職者数（全数）

区 分		2020年12月	前年比	2021年1月	前年比
新	規 求 人 計	8,131	△2.5	8,002	△6.1
	製 造 業	712	△10.3	721	7.6
主 要 業 種 の 内 訳	食 料 品	75	△27.9	162	8.0
	織 維	168	2.4	114	0.9
	木 材 ・ 木 製 品	30	△40.0	32	△3.0
	電 子 部 品 ・ デ バ イ ス ・ 電 子 回 路	116	50.6	96	△2.0
	電 気 機 械 器 具	33	△31.3	35	94.4
	情 報 通 信 機 械	4	△20.0	19	137.5
	非 製 造 業	7,419	△1.7	7,281	△7.2
	建 設	1,100	7.3	1,073	15.0
	情 報 通 信	65	18.2	48	△42.2
	運 輸 ， 郵 便	278	△7.6	334	△19.1
卸 売 ， 小 売	1,114	0.5	1,241	△17.2	
宿 泊 ， 飲 食 サ ー ビ ス	1,189	21.7	579	△10.4	
生 活 関 連 サ ー ビ ス ， 娯 楽	316	△20.6	235	△25.9	
医 療 ， 福 祉	1,751	△2.9	1,855	10.4	
サ ー ビ ス	973	23.2	1,098	30.2	
新 規 求 職 者 数		3,473	△1.6	4,032	△18.2
有 効 求 職 者 数		16,044	9.1	15,983	1.8

資料：秋田労働局職業安定課  
(注) 臨時・季節を含む

#### 有効求人倍率および事業主都合離職者数

区 分		2020年10月	11月	12月	2021年1月
有 効 求 人 倍 率	常 用	1.23	1.23	1.30	1.29
	パ ー ト 時 間	1.17	1.18	1.21	1.26
	全 数 (季 調 済)	1.23	1.23	1.23	1.31
事業主都合離職者数		273	173	162	221
前 年 比		20.3	6.1	5.9	12.2

#### 1月の地域別雇用状況（パートを含む常用）

区 分	新規求人数		有効求人倍率	
	前年比		前月比	
県 北	1,734	△9.3	1.47	0.04
県 央	3,425	△6.1	1.28	0.00
県 南	1,796	△13.1	1.13	0.02
合 計	6,955	△8.8	1.28	0.01

(注) 臨時・季節を除く